

物事の調べ方、まとめ方

1. なるべく具体的なかたちで、テーマに関する事実データ情報をつかむ

- ① 具体的とは → 基礎単位レベルにまで降ろしたかたちでつかむこと
- ② 事実データ情報とは → 第三者が検証可能な情報のこと

2. 事実データ情報は、一定の基準に基づき分けて、大項目のかたちで表示してみる

- ① 「分ける」、あるいは分類整理することの大切さ
- ② 「分ける」ことは、科学一般における分析の出発点である
- ③ もっと簡単にいえば、物事はまず「分けてみる」ことで明確になっていく

3. 優先度や重要度に応じて大項目を適切なかたちに並べかえる

本ケースの横浜市における広報のやり方、広報事業の内容という場合でいえば、この大項目は、短い個条書きのかたちで整理、列挙できる。それは、たとえば以下のようなかたちになる。

- ① テレビ・ラジオ広報 3 種類
- ② ホームページ活用型広報 2 種類
- ③ 協働型広報 5 種類
- ④ 広報よこはま（全市版と各区版の 2 種類）
- ⑤ 広報課の組織的位置づけ

4. 分類整理し、整序した大項目レベルで事実データ類を分析し、考察する

- ① 要因の単純化によるポイントの析出
- ② 物事の構造を少ない要因に還元し、ポイントをつかむ

5. これまでの作業だけでも、見えないものが見えてくるようになる

これまでの作業だけでも、物事の背後にある見えないものが見えるようになってくる。1 から 4 の作業を終えると、これまで見えなかったものが見えてくる。もっといえば、正しい方法で物事について、調べ、まとめてくると、問題の答は自ずと得られるようになるのである。